

1. **目的**：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づける。
また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。
あわせて情報発信としての校内放送活動の発展をはかる。

2. 主催・主管

【アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会
(神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部)

後援：神奈川県高等学校文化連盟

NHK横浜放送局、テレビ神奈川、横浜FM、ラジオ日本

神奈川新聞、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局

ビクター産業株式会社

3. 日時

2013年3月17日(日)

- ・役員校 控室集合 8:30 (会場準備8:40~9:00)
- ・委員校 控室集合 8:30 (会場準備8:40~9:00)
- ・審査員 控室集合 9:00
- ・受付 9:00~ 9:30
- ・作品提出 9:20~10:00
- ・各会場審査基準打合わせ 10:15~10:30
- ・審査開始 10:30~16:00
- ・閉会式 16:00~17:00

4. **会場**： 神奈川県立 神奈川総合 高等学校

5. 参加資格

2013年2月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学し、校内放送に携わっている放送部・委員会の生徒であること。

ただし、参加できるのは1、2年生とし、審査員説明会と大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は1名以上とし、3年生でもよい。

6. 部門・参加本数・参加費用

【アンデパンダン大会】

	アナ	朗読	放送劇	映像	SV
参加本数	制限無	制限無	2本	2本	3本
参加費用	1作品/1本毎 500円				

* アナウンス・朗読部門両方に同じ生徒が参加することはできない。

7. 表彰

アナウンス・朗読：各会場1~6位

放送劇・映像・ショートビデオ：各会場1~4位以内

放送劇部門には、今年も神奈川新聞社賞が贈られます。

8. 審査

- ①参加校各1名以上の生徒が審査にあたる。
- ②審査員は次の注意を守ること。
 - ☆ 部長（委員長）もしくはそれに準じる者であること。
 - ☆ 大会当日中の交代は不可
 - ☆ 3年生も可

9. 審査基準、方法

- ①高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。
最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。

10. 参加申込・生徒説明会

- ①期日：2012年12月8日(土)
- ②会場：神奈川県立神奈川総合高等学校
- ③時間：参加申込 13:30～14:30
説明会 14:30～16:30
- ④来場者：参加申込に1名
説明会に1名以上（審査員本人または代理）
- ⑤提出物：申込用紙・領収書（要 校長印・顧問印）
出場カード および 電子データのFD
審査部門希望カード
参加費

注1) 郵送・FAXなどによる参加申込は一切受け付けない。

注2) 審査員説明会への出席者は審査員本人であること。

正当な理由により出席できない場合は、必ず代理の者が当日出席すること。

注3) 提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、顧問の確認を受けること。

11. 大会当日の受付

- ①受付 9:00～9:30
受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、封筒・スクリプト(アナ・朗は2部・番組は1部)・MD又はオーディオCD・mini-DVテープ又はDVD-Rビデオ形式に記入する。
- ②封筒提出 9:20～10:00(時間厳守)
提出が遅れると順位算定の算出外となります
記入を終えた作品封筒を、各審査会場に各自持参し、審査補助係に提出する。

12. アンデパンダン大会諸規定

A アナウンス部門諸規定

- ① 内容：自校のニュースや解説など、高校生活中から生まれた若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。
- ② 自校の校内放送に使用する内容でなければならない
- ③ 時間：1分10秒～1分30秒。
番号、氏名を含む。
- ④ 計時：最初の声から最後の声までとする。
但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

B 朗読部門諸規定

- ①内容：次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。
作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。

1	夏草冬濤	井上靖	新潮文庫
2	茨の木	さだまさし	幻冬舎文庫
3	語りかける花	志村ふくみ	筑摩書房
4	みずうみ	シュトルム(関泰祐訳)	岩波文庫
5	枕草子	清少納言	指定なし

1～4は指定の出版社に限る。5)は古文体のもの、出版社は問わない。

- ②時間：1分30秒～2分00秒。
番号、氏名、作者名、作品名を含む。
- ③計時：最初の声から最後の声までとする。
但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

C 番組制作部門諸規定

- ①種類と時間：
- 放送劇 : 15分00秒以内
映像 : 1分00秒～8分00秒以内
- 今年の映像部門のテーマは「縁」です。
テーマに沿って制作してください。
- ショートビデオ : 30秒
- ②内容：
生徒自らの創作に限る。
- ③制作者：
3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に
学年・氏名・係(役)を明記すること。
- ④使用メディア：
- ・放送劇部門
 - ア) MD標準モード又はオーディオCDを使用すること。
 - イ) 再生エラーがあるので、完成後、複数の機械で再生してテストすること。
MD、CDは1作品をひとつのファイルでまとめ、簡単に作品時間がわかるようにする。
編集を数回行うとマージできなくなることがある。その場合は他のMDにダビングして再編集する。
再生はMD先頭の1曲目のみを再生する。
計測は、1曲目の時間を計測する。
 - ・映像部門、ショートビデオ部門
 - ア) MiniDVテープ又はDVD-Rビデオ形式を使用すること。テープ速度はSPモードとする。
ただし、MiniDVを使用する場合は、大会当日カメラとケーブルを持参すること。

⑤録音・再生：

- ・放送劇部門
 - ア) 左右両チャンネルに同じ音を録音する。
 - イ) 作品前後の無音部分は切り詰め、作品時間がわかるようにする。
 - ウ) 審査は、モノラル、で再生して行なう。
 - エ) 録音は最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした」というクレジットコールを入れる。
- ・映像部門
 - ア) 番組の最初と終りには、テストパターンを5秒間入れること。テストパターンについては、第59回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。
 - イ) 再生モードはSPモードのみとする。
- ・ショートビデオ部門
 - ア) 番組の最初に、テストパターンを5秒入れること。テストパターンについては、第59回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。
 - イ) 再生モードはSPモードのみとする。

⑥計時：

- ・放送劇部門
 - ア) 計時は、第1音目から計時を行う。
 - イ) クレジットコール終了とともに再生を終える。
その後どんな音が入っていても審査の対象とはならない。
- ・映像部門
 - ア) 計時は最初のテストパターンが終了した時点から開始する。
計時終了は次のテストパターンが出た時点とする。
- ・ショートビデオ部門
 - ア) 計時は最初のテストパターンが終了した時点から開始し、30秒経過した時点で放映を中止する。

⑦ラベル：

- ア) MD、CDケースやMiniDV、DVDケースに別紙17の「作品票」を貼ること。
- イ) MD、CDやMiniDV、DVD本体の表面には、部門名・会場名(当日わかる)・学校名(略称可)をMDやMiniDV本体の表面に明記したシールを貼ること。また、CDやDVD本体の表面には、上記の内容を直接マジックペン等で記入すること。

⑧著作権処理について：18 著作権処理についてをよく読んで、適切に処理すること。

13. スクリプトに関する規定

- ①NHK大会で使用した原稿用紙を使用する。(HPからダウンロード)
番組部門で必要な「制作意図」「あらすじ」も記入し添付する。
- ②作品1本(1人)についてアナウンス・朗読は2部、番組は1部提出する。
- ③第59回NHK杯全国高校放送コンテストの様式規定に従って作成する。
☆アナウンス・朗読→様式1-1、2 ☆番組→様式2-1~7
注：A4サイズに印刷をして、真ん中で折って、仕上がりA5版にする。
- ④スクリプトとMD等の作品を角2または角3の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプトの表紙と同様の記載をする。
- ⑤封筒表書の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	朗読部門
こころ	夏目漱石	宮田輝	県立◎△高等学校	[A]会場 [13]番

<番組>

制作代表者	再生時間	タイトル	学校名	映像部門
神奈川県次郎	9分40秒	ああ青春	県立神奈川県立神奈川高等学校	[B]会場 [22]番

注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。

注意2 []のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

注意3 この規定に違反した場合、減点及び失格になる場合があります。

14. その他

上記以外の規定については、第59回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

15. 諸注意

- ① 閉会式でスクリプト・MD等を返却するので必ず受け取ること。
- ② 大会当日の運営に関することは、すべて部長等、部の責任者を通して本部に申し出ること。
- ③ ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。